

6月

栄養管理委員会の活動について

糖尿病・内分泌内科部長
(栄養管理委員長)

むらかみ しほう
村上 史峰



「栄養管理」と言うと漠然としていて中々判りにくいのですが、主に病院給食に関する業務を担当しているのが栄養管理委員会です。

2024年1月1日の能登半島地震、最大震度7と記憶に新しいですが、この地震の最中も、実は活動していました。

病院は、患者さんが入院する施設である以上、手術や投薬と言う医療行為以外に、日常生活としての衣食住などの基本的行為も関わっています。従い、病院の管理下、入院している患者さんに、「地震だからご飯を我慢してください」では、善管注意義務（例外を除き、プロとして自分の物事以上に十分な注意を払うこと）は果たせません。社会復帰を早めるために、食事は欠かせないものです。

発災時、担当患者の病棟の被災状況のみならず、栄養管理委員会委員長の責務として、地震による給食施設、コンロや冷蔵庫の被害状況、搬入済み食材の状況と給食継続が可能かなどを管理栄養士に確認を指示し、対策本部に対して、調理人員に損害がなければ、年始休暇明けまで問題なく給食提供が可能であり、兼任中の薬事委員会委員長としても、薬局に被害が無かったと報告しました。

このほか、電気ガスの使用に困難を来すような最悪の事態に備え、被災時食品の備蓄と管理など、MCP(Medical Continuity Plan：医業継続計画)と連動する業務にも関わっています。

以上のような特殊な条件下での業務以外に、日常業務としては、各種管理栄養士の活動に関する報告(例、栄養指導件数など)、栄養に関する啓発活動(イベント)、病態・病気に応じた食品の備蓄状況(例、経腸栄養剤でも食品に分類されるもの)、調理委託業務に関する報告、給食施設の衛生管理状況に関する報告、病院給食の質を管理する目的に嗜好調査なども行っています。

食品衛生管理に関わるトリビアとして、病院には寝台が乗る大きなエレベーターが3台ありますが、そのうち1つは給食運搬専用です。1日に決まった時間しか動かないエレベーターなど、非効率的に思われますが、COVID-19(新型コロナ)に限らず、さまざまな病原体の治療を行うのも病院です。当然、食中毒菌に感染した患者さんも入院しますから、同じエレベーターを使ったのでは病院給食を通じて感染が広がりかねません。従い、動線が重ならないよう、エレベーターを分けるなど、食品衛生管理を徹底しています。

富山ろうさい病院では、毎月、ケーブルテレビ「NICE TV」で放送中の行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：2024年6月1日～6月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「(仮) 老年病専門医にご相談ください」

(出演者) 糖尿病・内分泌科部長 村上 史峰



過去の放送はこちらのQRコードからも確認できます。



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



【過去の放送はこちらから】

URL <https://www.toyamah.johas.go.jp/movie/index.html/>